

差別解消法のこれからを考える

～ 知的障害者の思い ～

(社福) 東京都知的障害者育成会
永田直子

前回(2015年12月)ワークショップ
「差別解消法への期待と不安」では・・・

6. 知的障害者の「権利」「差別」に対する意識

自ら作らざるを得ない心の壁

7. 今後への期待

知的障害者(当事者)の意識の変化

自尊心をもち、堂々と胸をはって歩んでほしい!

「心の声」を伝えてほしい!

本人部会交流会 参加者からの意見 (31名参加)
～津久井やまゆり園事件を受けて～ H28. 9. 25実施

・事件について

- ・自分の職場でこのじけんとおなじようなことがおきないことがいい。
- ・重い障害があっても人間です、生きていくことはあたりまえだと思います。幸福になる権利はあると思います。
- ・外に出るのがこわいと言う人がいるし、警察がもっと厳しく犯人をたいさくしてほしい。
- ・今までもへんげんがあった。今回の事件で表に出ただけ
- ・とても許されることではない。もうやってほしくない。
- ・障害者でも同じ人間。殺すのはよくない。同じ事件を起こしてもらいたくない。
- ・ひどい事件がおきてしまったので、とてもふゆかいだし、とてもざんこくだと思っています。

本人部会交流会 参加者からの意見
～津久井やまゆり園事件を受けて～

・今の気持ち

- ・つらい思いをした。悲しい事件。
- ・一生懸命生きている人を傷つけることは許せない。
- ・ひどい事件。涙が出た。世の中の人が自分たち障害のある人をどう考えるかと思うと外に出るのがこわくなる。
- ・母に育ててもらったのに・・・気持ちを考えてほしい。
- ・子どもころ(普通の人に悪口を言われたこと)を思い出した。
- ・まわりの人がすごく悲しんでいました。
- ・しゃべれなくてもみんな一生懸命生きてるのに、被害にあってかわいそう。

本人部会交流会 参加者からの意見
～津久井やまゆり園事件を受けて～

・犯人に対して

- ・コミュニケーションが足りなかった。徹底的に指導してほしい。
- ・相談できたらよかった。
- ・つづなってほしい。犯人は死刑にしてほしい。
- ・真夜中に自分がかよっていた元施設にいくなっておかしいよ。

・防犯対策など

- ・安心、安全、生きる道。セキュリティ強化。
- ・施設の建物の防犯設備をしっかりとしてほしい。
- ・警察もっと早くたいおうしてほしい。

本人部会交流会 参加者からの意見
～津久井やまゆり園事件を受けて～

・支援者に対して

- ・私たちが楽しくらすのを支えてくれる人、サポートしてくれる人が大事。
- ・施設の職員のやったことが許せない。職員の教育もしっかりしてほしい。
- ・支援がもっとしっかりホームを守り、暴力をしてはならないように気を付けて責任をもってやってほしい。
- ・職員の労働条件がよくなかったのではないか。

※ワークショップを通しての感想

「自分の気持ちを表に出せてよかった！」

「手をつなぐ」9月号
全国手をつなぐ育成会交流誌

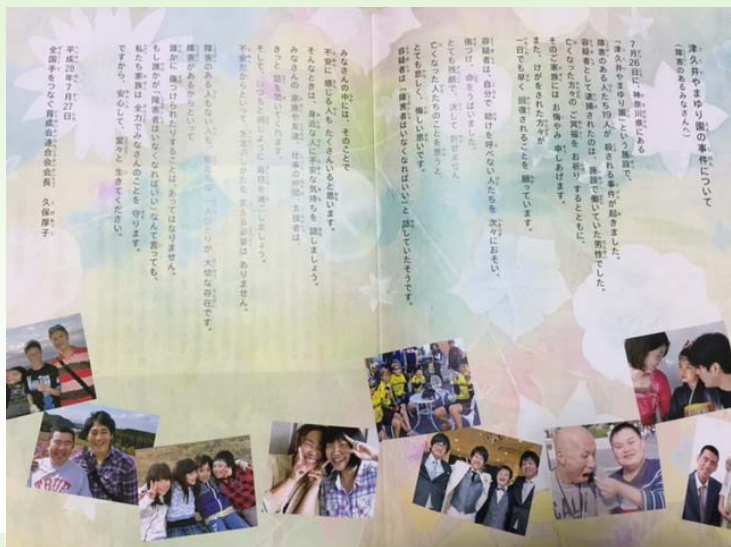


だいじょうぶ、
手をつなごう



平成28年7月27日
全国手をつなぐ育成会連合会会長

久保厚子



津久井やまゆり園の事件について
(障害のあるみなさんへ)

「差別解消法のこれからを考える」 次の一步は？
～共生社会を目指すために～

知的障害、精神障害、発達障害の場合

最低限の環境の整備、情報保障も大切ではあるが・・・

- ◆みんなと同じようにできない、してもらえないことの辛さ
- ◆どんな配慮をしてほしいのかが伝わらない辛さ
- ◆どういときに安心で、どういときは不安なのかを

理解してもらえない辛さ

どう気づき、感じてもらえるか ← 事例の共有の積み重ね

地域での暮らし

教育・しごと・健康、医療・住まい・防災
文化活動（芸術、スポーツ、娯楽など）・・・等々

〈事例1〉 〈事例2〉

人

- 対応する人（事業者）
- 周囲の人たち（お客様）
- 同行する人（支援者・家族）

本人

気持ち

- 受け容れる気持ち
- 意思を尊重する気持ち
- 実現させたい気持ち
- 失敗を攻めない気持ち

「差別解消法のこれからを考える」 次の一步は？
～共生社会を目指すために～

これまで・・・



〈交通機関は社会への架け橋〉

交通機関における差別的取り扱い、合理的配慮を検討

これからは・・・

〈交通機関は生活全体の中の一部〉

障害者の地域での暮らし全体から差別解消法を考える

様々な生活の中で、当事者の気持ちに寄り添い、

多くの事例から本人の思いや困り感を知ることが大切